

2020 年9月4日

久米 正幸

2020 年 第3回企画会議(第 57 回都公連研究大会)速報

日時 令和2年9月2日(水) 14時～17時 町田市生涯学習センター6階会議室1

出席 山田・増本(国分寺)、遠藤・木村(昭島)、大久保・中川・伊藤(小金井)、高下(国立)
大屋・久米(小平)、富田(研修)、伊東・小笠原・岩松(顧問)、塩田・植松・斎藤(町田市)

欠席 須崎(日野)

1、開会 挨拶 塩田(町田市生涯学習センター長)

2、報告事項

(1)メインテーマ・開催趣旨 第2回企画委員会議事録の通り

(2)基調講演の講師の決定 第一順位の長澤成次氏(千葉大学)に依頼し承諾された。

3、協議事項

(1)後援名義の申請＜申請先＞ 東京都教育委員会、東京都市長会、町田市教育委員会、他

(2)主催者及び来賓者の挨拶文について 主催者 都公連会長、
来賓者 東京都教育庁地域教育支援部生涯学習課課長、町田市長

(3)実施方法の検討 (当初予算 開催収入約35万円と支出35万円含め)

①集合形式による開催は中止 従来方式は 感染の懸念がある。②、③、④について検討

②資料の作成、配布 収入と支出はほぼ同額(約366,000円)

③DVDの作成配布 基調講演のみとする。都公連ホームページにアップ

④オンデマンド配信 都公連のホームページにアップして配信

(4)集合形式以外の開催要領について

参加者負担金をどう見るかで議論した。

当初案は 参加費1000円で250人位を見越し25万円を見ていたが、

②の資料配布だけで、一人1部1000円を徴収するのはいろいろと問題がある。

市によっては、参加費という予算なので、資料だけでは支出できない意見あり。

③DVDでは、基調講演のみなので、講演料は少なくて済むが、負担金をどうするか。

④オンデマンドは 基調講演だけと、課題別集会をするとすると、予算的にどうするか。

③、④合わせた提案もあったが、基本的に参加者一人1000円を集められるか。

または 研究大会負担金として各市で人数分負担できるか。

従って、研究大会負担金の在り方を町田市(事務局)で各市に問い合わせることになった。

(5)課題別集会について

これも、出来るかどうかは、各市の研究大会負担金の可否で決まるので、結局次回迄保留。

4、各部会及び課題別集会担当市からの進捗報告

・委員部会、 第1回委員部会研修会は、10月24日小平市中央公民館で実施する。
テーマ「緊急事態宣言後の公民館のあり方」講師 安藤聡彦(埼玉大学)
第4課題別集会は テーマをメインテーマと同じくして事例発表を考えている
なお助言者も安藤先生に問い合わせ中と報告。

・職員部会 職員部会研修会は 中止する。
第3課題別集会の事例発表は 町田市の事例を考慮中です。

・昭島市 第1課題別集会担当市で今 助言者 二宮氏でどうかと考慮しているところ。

・小金井市 第2課題別集会担当市で まだ 検討中

以上要約です。正式には議事録が発行されます。